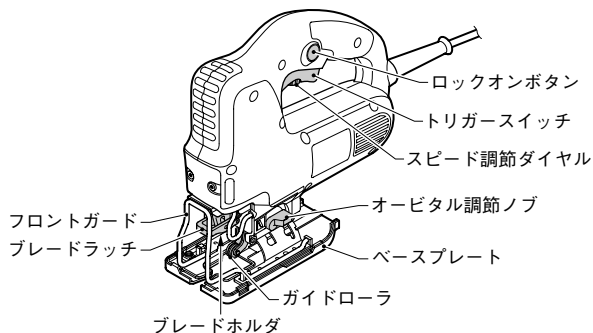
DEWALT®

デウォルト電動工具
取扱説明書

DW341K
550W　電動式ジグソー

二重絶縁

本製品は電気的に安全な二重絶縁構造となっておりますので、
接地（アース）する必要はありません。

製品の各部名称と仕様

こだわりのデウォルト... 強靭な作業場を提供します。

デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靭な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕　様

品　番	DW341K
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	550W
ストローク長（mm）	20mm
ストローク数（min^{-1}）	無段変速 0-3100 min^{-1}
切断能力（mm）	金工：10mm
	木工：85mm
	アルミニウム：20mm
質量	2.0Kg

注意）上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますので
　　　ご了承ください。

目　次

安全上のご注意

⚠注意　正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読み下さい。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

● 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「障害を負う危険性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

⚠警告　電動工具を安全にお使いいただくために

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

● **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。

● **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。

● **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

● **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入っていると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。

● **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

● **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。

● **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。

● **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ずプラグをコンセントからはずしてください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。**こうした確認は不意に電動工具が作動して事故を引き起こすのを防止します。

● **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**デウォルト社製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために

◆電気に関する安全事項

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。

◆個人的な注意事項

- **常に注意して作業を行なってください。**電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **キチンとした服装で作業を行なってください。**そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。**スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。**電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。**電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。お子様の手の届かない高い場所または、鍵のかかる場所に保管してください。

◆工具の使用と手入れ

- **損傷部品を点検してください。**引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく作動するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために

- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。**安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- **電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。**修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターで行わなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。**十分な能力を発揮するために、修理、メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

⚠ 警告　ジグソーに関する安全上の追加事項

- **壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。**感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分注意してから作業を行ってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行ってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- **壁や床面を切断の際、もしくは電流の流れた電線のあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらないでください。**通電中の電線を誤って切った場合、感電するのを防ぐため二重絶縁されたハンドル部のみ工具をつかんでください。
- **手を運転中の刃物に近づけないでください。**運転中は絶対に刃物に触れたり、床などの上に置かないでください。作業は工具前部分のハンドルをしっかりとつかんで行ってください。手の指を刃物に近づけないように注意してください。
- **刃物類はよく切れる状態を保ってください。**切れない刃物の使用は、刃物が使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
- **木材の中には毒性の銅クロムヒ塩酸（CCA）が含まれたりするものがあります。**木材の切断時、銅クロムヒ塩酸を誤って吸い込んだり、肌に触れたりしないよう細心の注意をはらってください。
- 電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

  回・・・・・・・・・・　二重絶縁

- 本機は二重絶縁構造になっており、工具の外側の部品は電力の供給源と絶縁されており、アースしなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

◆延長コード

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
使用できるコードの太さ（公称断面積）最大長関係

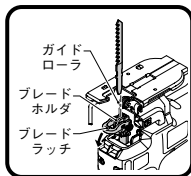
コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm²	15m
2.00mm²	30m

● **騒音防止規制について**

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

製品の特色と使用方法

◆ソーブレード（ノコ刃）の取り付け方・取りはずし方

ガイドローラ
ブレードホルダ
ブレードラッチ

取り付け方

（1）電源プラグをコンセントから抜いてください。

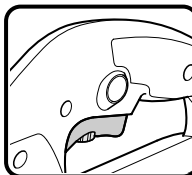
（2）ブレードラッチを上に引き上げてください。

（3）ガイドローラにそって、ソーブレードをブレーホルダに挿入します。
このとき、ソーブレードを奥までしっかりと差し入れてください。

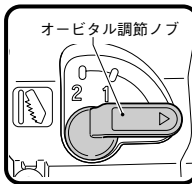
（4）ブレードラッチを元の位置に戻します。

（5）ソーブレードが、確実に取り付けられているか確認してください。

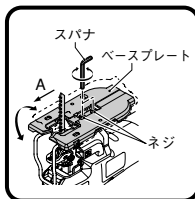
取りはずし方は、取り付け方の逆の手順で行ってください。

◆トリガー（引き金）スイッチ・ロックオンボタン

トリガースイッチを引くと作動します。またトリガースイッチを放せば止まります。トリガースイッチには無段変速機能が組み込まれていますので、強く引くと高速、弱く引くと低速というように速度を調節できます。作業の内容によってトリガーの引き具合で速度を調節できるので大変便利です。
トリガースイッチを引き最大スピードにしたときに、ロックオンボタンを押すとトリガースイッチを放しても作動し続けます。
止めるときは、トリガースイッチを再度引いてください。

◆スピード調節ダイヤル

本機には、1～7段階にスピード調節ができるダイヤルが付いています。
高速を必要とする場合は、スピード調節ダイヤルを高い数値にあわせてください。
低速を必要とする場合は、スピード調節ダイヤルを低い数値に合わせてください。
切断する材質の特性に合わせ、木材には高速、アルミニウム及びプラスチックには中速、アルミニウム以外の金属には低速で作業を行なってください。

◆オービタル調節機能

本機は、2段階にオービタル機構（しゃくり動作）を調節することができます。
オービタル調節ノブを0に合わせるとオービタル機構は作動せず、ソーブレード（ノコ刃）は垂直動作を繰り返します。
硬い材質のものを切断するとき、もしくは細かいものの切断・仕上げ作業を要求されるときはこのオービタル調節ノブを0（垂直動作）に合わせて作業を行ってください。
柔らかい材質を切断される際や、早く切断する(粗切り）作業を要求されるときはこのオービタル調節ノブを作業内容に応じて1か2に合わせて作業を行ってください。

◆ベースプレート角度調節機構

ベースプレートの角度を左右０度から45度まで、調節することができます。
角度を調節するには、

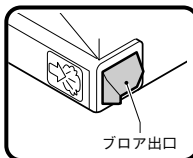
(1) ベースプレートを留めているネジをスパナで緩めてください。

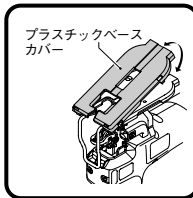
(2) ベースプレートを前方（矢印Aの方向）へスライドさせてください。

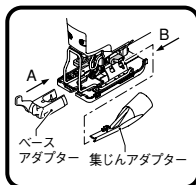
(3) ベースプレートの角度を、切断したい角度にあわせてください。

(4) ベースプレートを後方（元の位置）にスライドさせてください。

(5) ベースプレートを留めているネジをスパナで締めてロックしてください。

◆ブロア機能

ブロア機能は、作業面の切り粉を吹き飛ばしますので、作業面を確認しながら連続で行うことができます。

◆プラスチックベースカバー

傷つきやすい素材を切断する際は、プラスチックベースカバーを取り付けて使用してください。
プラスチックベースカバーの取り付けは、左図のように、プラスチックベースカバーを本体前側より取り付け、ベースプレートに押し付けてください。

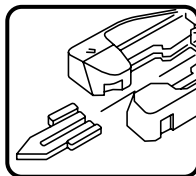
◆ベースアダプター（別売）・集じんアダプター（別売）

本機にベースアダプターを使用することで、飛散を防止することができます。
ベースアダプターの取り付け方法は、左図の矢印Aの方向から本機にベースアダプターを差し入れます。
また、併用して集じんアダプターを使用することで、集じん機に接続して使用することができます。

(1) 集じんアダプターを本機の後方矢印Bから差し入れて取り付けてください。

(2) お手持ちの集じん機のホースを集じんアダプターに接続してください。

◆木材の切断

- 作業物が固定されていないときは、切断作業の前にかならずクランプ等を使って固定してください。
- ベースプレートを作業物にあて、トリガースイッチを引き速度を最大にしてください。このときソーブレードは作業面に接触させないでください。
- 作切断作業中は、必ず両手をつかってジグソーをしっかりと固定してください。
- 切断作業中、ジグソーを作業方向に無理に押し付けたりすることは切り口の仕上がりが悪くなるだけでなく、作業の効率もかえって低下します。作業方向に無理に力を入れず、ゆっくりと切断作業をおこなってください。
- 振動やぶれを防止するため、ベースプレートは作業物に常に接触した状態を保ってください。ソーブレードの破損防止にもつながります。

◆金属の切断

- 左図にあるように、金工用差込みをベースプレートに取り付けてください。この差込みは金属切断時の振動を抑える効果があります。
- 板金を切断される際に起こる振動は、木材やベニア板を下に敷きクランプで抑えながら切断することで抑えることができます。
  振動を抑えることにより、切り口がスムースになります。
- 鉄を多く含む金属を切断する際、目の細かいソーブレード（仕上げ用）をご使用ください。鉄を含まない金属を切断する際、比較的目の粗いソーブレードをご使用ください（ソーブレードを購入される前に、取扱説明書をよくお読みください）。

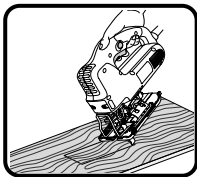
● 柔らかい金属（アルミ、銅、真ちゅう、軟鋼、トタン等）を切断される際は、切断の速度を「高速」に設定して作業を行ってください。プラスチック、タイル、デコラ（耐熱性のプラスチック板）、硬い金属、鋳鉄等を切断される際は、切断の速度を「低速」に設定して作業を行ってください。

⚠金属を切断する際は、必ず切削油等をご使用ください。液状の切削液をご使用にならない場合は、グリスを切断面の裏側に塗布することをお勧めします。

⚠注意　切削油を使用しないとブレードの寿命が著しく短くなります。

◆ポケット・カット

ポケット・カットとは、木材の表面を貫く方法です。

切断する木材の表面に鉛筆等で線を引き、その線に従って貫きます。

(1) ベースプレートの角度を左右0°以外に調節している場合は、ベースプレートを元の位置（ソーブレードに対して90°）に戻してください。

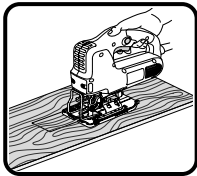
(2) ポケットカット用の短いソーブレードを装着してください。

(3) ベースプレートの前方下部分を作業面表面にしっかりと接触させ本機を安定させてください。

⚠このときソーブレードは作業面に接触させないでください。

(4) トリガースイッチを引き、速度を最大にしてください。

(5) ベースプレートの前方下部分を作業面表面に接触させたまま、ゆっくりとソーブレードを作業物におろすと、少しづつ下方向へ切断し始めます。木材が完全に下方向へ貫通するまで作業を止めないでください。途中で止めると、工具が作業物表面から跳ね返り大変危険です。

⚠切断作業中は、本機をしっかりと両手で保持した状態で行ってください。

(6) ジグソーブレードが下まで貫通した後、ジグソーブレードを直角に戻して切断作業をすすめてください。

⚠この切断方法は、切断表面の視界がよくありません。十分に気をつけながら作業を行ってください。

◆平行定規と円曲定規

● 本機に使用できる平行定規と円曲定規は別売りにて販売しております。お買い上げの販売店もしくは所定のサービスセンターにお問い合わせください。

（平行定規：DE3241　円曲定規：DE3242）

清掃と注油

本機は工場出荷前に必要箇所に適切に注油されております。ご使用の頻度にもよりますが、2ヶ月から6ヶ月に一回、注油を含むメンテナンスを所定のサービスセンターにてうけることをお勧めします。ご使用頻度の高い工具は、頻繁に注油をする必要があります。また長期間ご使用にならなかった場合も、ご使用の前に一度注油をうけてください。

メンテナンス

ホコリや油等が製品の表面に付着した場合、布やブラシ（金属製以外のもの）等でから拭き／ブラッシングしてください。水、薬品は掃除の際、絶対に使用しないでください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社所定のサービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、マックス㈱までご連絡ください。

⚠当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

MEMO

MEMO

総販売元：マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町2313	TEL(028)636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL(04)7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL(042)528-3051㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL(029)255-3761㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2－22－15	TEL(053)439-3300㈹
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6－2－4	TEL(078)367-1580㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2112㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL(027)210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1－35－1	TEL(026)285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10－8	TEL(076)452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2－1711	TEL(0776)27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0863	徳島市安宅2－4－46	TEL(088)623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**

月～金曜日 午前9時～午後6時（ナンバーディスプレイを利用しています。）

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

061130-00/00